



和田 拓也さん

Wada Takuya

〔下横田区〕

わだ・たくや / 柔道家。昨年
から、甲佐町総合型地域ス
ポーツクラブ「I・YOUス
ポーツクラブ」で、少年柔道
を開設し指導。(写真中央)

柔道を通して自分を鍛えて 子どもたちに勝つ喜びを

「とにかく柔道が好き。みんなに柔道を知ってもらいたいという気持ちから始めました」と柔道への情熱を語るのは、甲佐町総合型地域スポーツクラブ「I・YOUスポーツクラブ」で、少年柔道を指導する和田拓

也さん。「先輩が子どもたちを指導する姿を見て、自分も子どもたちに柔道の楽しさを教えた」と思い、小学生を中心に毎週火・木曜日に指導している。中学から柔道と向き合う和田さんは、強い先輩や同級生らの

中でもまれて鍛えられ、高校・社会人で県大会3位に勝ち上がるほどの実力の持ち主。少年柔道では、「まずは、けがをしないこと。受け身や体づくりなど基礎をしっかりと身に付けて、楽しく柔道ができる体を作る。年齢が小さい子どもでも大きい子どもでも、基本となることは同じ」と、基礎を大切にしながら子どもたちへの指導を心掛ける。

厳しい稽古(けいこ)を積み柔道の楽しさと魅力は「試合で勝ち始めると分かってくる。逆に、勝たないと分からない」と和田さん。「強い人を稽古で投げると、自分を鍛えていることが感じられたときに、初めて喜びが分かるもの」と考える。

強くなる秘訣(ひけつ)を「投げられて、投げられて、柔道は強くなる。逆に投げられないと、強くはならない」と表現。「投げられる中で、柔道の動きを体が自然と覚え、相手の技を盗むことができる」と語る。

少年柔道でがんばる子どもたちに対して、「どんなに小さい大会や試合でもいいから、金メダルを取らせてあげたい。一生懸命がんばって稽古して、子どもたちには勝つ喜びを感じてほしい」と、活躍を強く願う。

今後の指導について、「まだまだ指導者の駆け出しなので、柔道を分かりやすく表現できる、教えるのがうまい先生になりたい」と語る和田さん。「とにかく柔道は楽しいです。まずは、稽古を見に来てください。体験も気軽にできます」と語る言葉には柔道への愛情があふれる。